



〒892-0841  
鹿児島市照国町13-42  
カトリック鹿児島司教区  
電話099(226)5100  
振込口座 02030-2-8359  
編集発行人 末吉卓也  
1部60円年間千共1100円

| 教会のこよみ    |       |            |            |            |            |            |
|-----------|-------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 29日       | 26日   | 19日        | 15日        | 14日        | 12日        | 8日         |
| 日         | 日     | 日          | 日          | 日          | 日          | 日          |
| 聖ラファエル大天使 | 聖ミカエル | 聖マタイ使徒福音記者 | 聖マタイ使徒福音記者 | 聖マタイ使徒福音記者 | 聖マタイ使徒福音記者 | 聖マタイ使徒福音記者 |

# 聖師の偉業を讃え平和を願う ザビエル上陸記念祭



ザビエル上陸記念祭の意義を説く糸永司教

後四時から開催された。今年も同催しは、ザビエルの上陸の記念、聖母被昇天の祝日、平和旬間の締めくくりにあわせて行われた。まずミサ前に上陸記念碑のザビエル像前でザビエルへの崇敬が行われ、花と献香と「聖フランシスコ・ザビエルの取次

## 第一回記念祭から三十年 全国の教会を代表して継続

聖フランシスコ・ザビエルの日本上陸を記念しその業績に感謝する「ザビエル上陸記念祭」が今年も聖師の鹿児島上陸日に当たる八月十五日(日)、祇園之洲で開かれた。教区では一九七五年に第一回ザビエル祭を開催して以来、毎年、全国の教会を代表するという使命のもと継続している。

八月十五日、今年もザビエル上陸記念祭が祇園之洲のザビエル上陸記念碑前で行われた。

今年も、ちょうど八月十五日が主日にあたったため、教区本部会議とザビエル上陸記念祭実行委員会(小川靖忠委員長)で検討した結果、主日のミサの時間に重ならないように、午

「福音宣教の決意表明」が子供信徒、青年信徒、成人信徒それぞれの代表によって行われた。

司教は「以前はザビエル教会単独で開催されていたザビエル祭を教区行事として開催するようにし」、「祇園之洲に上陸記念碑を建てた」のは、「鹿児島教区民が全国を代表するつもりで、毎年この日に、この上陸の地に集まって、ザビエル様の日本への宣教を記念

## 平和への願いを鐘の音に乗せて 終戦記念日に鹿児島市内六教会



八月十五日(日)鹿児島市内のカトリック教会が正午の時報に合わせて教会の鐘を打ち鳴らした。これは鹿児島ユネスコ協会の「終戦記念日に平和の鐘を鳴らそう」の呼びかけにこたえて実施されたもの。会場の一つとなつたザビエル教会には五十人余りの信者が集まり、平和を求める祈りを唱え、鐘の音を聞きながら平和な世界が実現するように心を合わせた。

「説明した。また、ザビエルの宣教について「天地創造の神、靈魂の不滅、永遠の命へ至る道はキリスト以外には無いこと」を知らせること、と三つの柱を挙げ「現在の福音宣教においてもこの三つの柱は変わっていない」と、信者たちを福音宣教へと促し励ました。

今年の夏は連日の猛暑続きで記念祭もかなりの暑さが予想されたが、三百七十人ほどの信者が集まり、ミサに参列した。司教も二十

十人が集まりともにミサをささげた。司祭団の中には引退した田辺徹神父や徳之島から石田望神父の姿も見られた。

同祭実行委員の一人は「今年も主日と重なり開催時間が変更になったため、参列者の減少が心配されたが、予想以上に多くの信者さんが集まり感謝している。来年も多くの方々に参列してもらい、ザビエルの偉業を讃えて欲しい」と語った。

## 三神学院の一貫的養成のために 長崎教会管区司祭養成者研修会

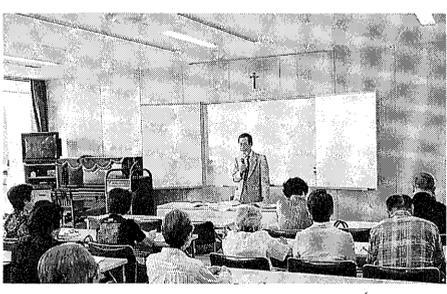
八月十日(火)から十二日(木)まで、長崎大司教館において長崎カトリック神学院(小神学校、長崎コレジオ(大学生)、福岡サン・スルピス大神学院の各養成者と長崎教会管区内の各教区司祭召命担当者

との合同研修が高見三明長崎大司教と宮原良治大分司教の出席のもと開かれた。鹿児島教区からは召命担当の泉浩(神父、鴨池教会)と末吉卓也神父(ザビエル教会)が参加した。テーマは「司祭養成理念の理解と神学院での取り組み」である。

また、今年の教区目標「教会の教えを学び直そう」が、小教区でどのように推し進められているかを検証するためのアンケートを採ることを決定した。尚、このアンケートの結果は九月頃まとめられる予定である。

## 「聖書からの問いかけ」テーマに 第13回夏期集中講座

毎年恒例の教区主催「夏期集中講座」が、今年八月十六日(月)から二十日(金)までザビエル教



今年も「聖書からの問いかけ」を掲げ、人間、秘跡、福音宣教について、講師の竹山昭神父から熱心に学習した。受講したのは午前、午後の講座合わせて約六十人。鹿児島市内からはばかりでなく、始良、指宿、川内、遠くは出水からの受講者も見られたほか、聖公会の兄弟の受講もあった。

## 信仰養成委員会

七月二十五日(日)午後二時から教区本部で、信仰養成委員会(糸永真一会長)が開かれた。

会では青年、壮年、女性信徒、教師の会など各活動団体の報告がなされた後、六月に行われた班長研修会の反省や、十月に開催予定のカテキスタ研修会の準備等についても話し合われた。

# 崩壊の中から語る聖書

## 聖書の人間理解 (1) 竹山 昭

今年の司祭黙想会で指導司祭の中川博道師は、導入の講話で「現代は、聖書の言葉は、バビロン捕囚の時代にも匹敵する時代である」との時代認識を語られた。

「バビロン捕囚は、一神教の崩壊」をもたらした。神の崩壊は、いわば、神の現存の場の喪失を意味する。

捕囚期に匹敵する現代 紀元前五九七年に、エルサレムを占領したバビロン軍によって王をはじめ指導者層、軍人、技術者たちが神殿の宝物とともにバビロンに捕らえ移された(第一捕囚)。その数は三千人とも、八千人とも、また一万人とも記されている。その十年後には新たな反乱を起してバビロン軍の攻撃を受け、エルサレムは一年半の包囲に耐えたものの、前五八七年には陥落する。エルサレムは徹底的に破壊され、神の保護の象徴であった神殿は火を放たれた。反乱の中心者と目された七十人は処刑、他の有力者(エレミヤ五二・一二九では八十三人)は王とともにバビロンに連れ行かれた。後に残されたのは貧しい農民層だけであった。ここに単独王朝としては類を見ないダビデ王朝の四百年余の歴史が終った。これがおよそ五十年間続くバビロン捕囚期の始まりである。

バビロン捕囚の時代は、したがって、ひとつの時代が壊滅した時代だと言えよう。現代はこの時代に匹敵

するといっているのである。バビロン捕囚は、「神殿の崩壊」をもたらした。神の崩壊は、いわば、神の現存の場の喪失を意味する。

「私たちの生きるこの時代の特徴の一つは、恐らく激しい『世俗化』の時代であるという点にある。神の存在の場を持たない、必要としないといえる時代である。」

また、「首都エルサレムの崩壊」をももたらした。ダビデ王がここを首都と定め、はじめて十二部族全体を統一する一つの王国を立てて以来、エルサレムは常に民の一致の中心であった。その一致の中心の喪失である。個人主義と多元主義が幅を利かす現代では、「同じ」でも「同じ」といえるものは崩壊した。

さらに、捕囚は「国家の崩壊」であった。それは「アイデンティティの崩壊」を意味した。現代という時代はアイデンティティの確立が叫ばれる時代である。その確立が叫ばれる以上、アイデンティティを見失っていることを意味する。

「カトリック者としてのアイデンティティの喪失」、それを否定できるだろうか?

現代世界の急激で、全般的で、深刻な変化のなかであって、本当によって立つ場を求めて手探りで歩

む、そんな時代に私たちは生きているのではないのか? 指導司祭にそのように問われて、私たちは、すくなくとも私はがく然とした。もやもやと感じてきたものを、鮮やかにえぐり出された思いがしたからだ。

民族崩壊期と聖書成立 バビロン捕囚時代に匹敵する状況の現代にあつて、それでは、聖書は果たしてその答えを与えうるのか。そのことを考えるためにも聖書がいかなる時代背景のもとに成立したのかを、考えておきたい。

今は亡くなられた旧約聖書学者の左近淑氏は旧約聖書の成立に三つの時期を指摘する。その全体を紹介する余裕はないが、簡潔に言えば、次のようである。

第一期 前十一〜十世紀 (イスラエル部族連合が崩壊し、カナンの・オリエント的王政への移行期)

第二期 前八世紀 (北王国の滅亡期)

第三期 前六世紀 (バビロニアによる南王国滅亡と捕囚期)

旧約聖書の大部分はこの三つの時期に生みだされたとすれば、それは旧約聖書の成立自体がイスラエルの歴史における三度に渡る大規模な民族崩壊の時期に集中している事実を示している。旧約聖書の大部分が民族規模の崩壊との深いかわりのなかで生みだされたことを示唆する。左近氏はそう指摘する。

そうした聖書であれば、異なる状況ではあれ、同じく一種の喪失経験にとまどう現代の私たちに何かを語ってくれる可能性を持つ。それが聖書に人間理解の根幹を問おうとする所以である。

カテドラル (司教座) 教会、部分教会 (司教座) の牧者の指導職と権能のしるしであり、また司教が群れの牧者として告知知らせる信仰を信じる者の一致のしるしである。

司教座教会 司教座教会において司教は祭日に典礼を司式する (『司教儀式書』四二番)。

司教座教会 司教座教会に対する愛と尊敬が相応しい形で信者たちの心に刻まれない。年毎の献堂記念祭儀、また信者が、ことに小教区あるいは地区毎に敬虔に司教座を訪問するために非常に行う巡礼は、そのために非常に有益である (同四五番)。

カテドラルとは 『司教座教会 (カテドラル) とは司教座が置かれる』 (同四五番)。

カテドラル (司教座) 教会、部分教会 (司教座) の牧者の指導職と権能のしるしであり、また司教が群れの牧者として告知知らせる信仰を信じる者の一致のしるしである。

司教座教会 司教座教会において司教は祭日に典礼を司式する (『司教儀式書』四二番)。

司教座教会 司教座教会に対する愛と尊敬が相応しい形で信者たちの心に刻まれない。年毎の献堂記念祭儀、また信者が、ことに小教区あるいは地区毎に敬虔に司教座を訪問するために非常に行う巡礼は、そのために非常に有益である (同四五番)。

カテドラルとは 『司教座教会 (カテドラル) とは司教座が置かれる』 (同四五番)。

カテドラル (司教座) 教会、部分教会 (司教座) の牧者の指導職と権能のしるしであり、また司教が群れの牧者として告知知らせる信仰を信じる者の一致のしるしである。

司教座教会 司教座教会において司教は祭日に典礼を司式する (『司教儀式書』四二番)。

カテドラル (司教座) 教会、部分教会 (司教座) の牧者の指導職と権能のしるしであり、また司教が群れの牧者として告知知らせる信仰を信じる者の一致のしるしである。

司教座教会 司教座教会において司教は祭日に典礼を司式する (『司教儀式書』四二番)。

司教座教会 司教座教会に対する愛と尊敬が相応しい形で信者たちの心に刻まれない。年毎の献堂記念祭儀、また信者が、ことに小教区あるいは地区毎に敬虔に司教座を訪問するために非常に行う巡礼は、そのために非常に有益である (同四五番)。

カテドラルとは 『司教座教会 (カテドラル) とは司教座が置かれる』 (同四五番)。

カテドラル (司教座) 教会、部分教会 (司教座) の牧者の指導職と権能のしるしであり、また司教が群れの牧者として告知知らせる信仰を信じる者の一致のしるしである。

司教座教会 司教座教会において司教は祭日に典礼を司式する (『司教儀式書』四二番)。

カテドラル (司教座) 教会、部分教会 (司教座) の牧者の指導職と権能のしるしであり、また司教が群れの牧者として告知知らせる信仰を信じる者の一致のしるしである。

司教座教会 司教座教会において司教は祭日に典礼を司式する (『司教儀式書』四二番)。

司教座教会 司教座教会に対する愛と尊敬が相応しい形で信者たちの心に刻まれない。年毎の献堂記念祭儀、また信者が、ことに小教区あるいは地区毎に敬虔に司教座を訪問するために非常に行う巡礼は、そのために非常に有益である (同四五番)。

カテドラルとは 『司教座教会 (カテドラル) とは司教座が置かれる』 (同四五番)。

カテドラル (司教座) 教会、部分教会 (司教座) の牧者の指導職と権能のしるしであり、また司教が群れの牧者として告知知らせる信仰を信じる者の一致のしるしである。

司教座教会 司教座教会において司教は祭日に典礼を司式する (『司教儀式書』四二番)。

カテドラル (司教座) 教会、部分教会 (司教座) の牧者の指導職と権能のしるしであり、また司教が群れの牧者として告知知らせる信仰を信じる者の一致のしるしである。

司教座教会 司教座教会において司教は祭日に典礼を司式する (『司教儀式書』四二番)。

司教座教会 司教座教会に対する愛と尊敬が相応しい形で信者たちの心に刻まれない。年毎の献堂記念祭儀、また信者が、ことに小教区あるいは地区毎に敬虔に司教座を訪問するために非常に行う巡礼は、そのために非常に有益である (同四五番)。

カテドラルとは 『司教座教会 (カテドラル) とは司教座が置かれる』 (同四五番)。

カテドラル (司教座) 教会、部分教会 (司教座) の牧者の指導職と権能のしるしであり、また司教が群れの牧者として告知知らせる信仰を信じる者の一致のしるしである。

司教座教会 司教座教会において司教は祭日に典礼を司式する (『司教儀式書』四二番)。

カテドラル (司教座) 教会、部分教会 (司教座) の牧者の指導職と権能のしるしであり、また司教が群れの牧者として告知知らせる信仰を信じる者の一致のしるしである。

司教座教会 司教座教会において司教は祭日に典礼を司式する (『司教儀式書』四二番)。

司教座教会 司教座教会に対する愛と尊敬が相応しい形で信者たちの心に刻まれない。年毎の献堂記念祭儀、また信者が、ことに小教区あるいは地区毎に敬虔に司教座を訪問するために非常に行う巡礼は、そのために非常に有益である (同四五番)。

カテドラルとは 『司教座教会 (カテドラル) とは司教座が置かれる』 (同四五番)。

カテドラル (司教座) 教会、部分教会 (司教座) の牧者の指導職と権能のしるしであり、また司教が群れの牧者として告知知らせる信仰を信じる者の一致のしるしである。

司教座教会 司教座教会において司教は祭日に典礼を司式する (『司教儀式書』四二番)。

### <KABAYAN SEKSIYON>

#### "ANG SAKRAMENTO NG KUMPIL"

Ang pangalawang sakramento na tatalakayin ko ay ang sakramento ng Kumpil.

Sa pamamagitan ng "Sakramento ng Kumpil" ang isang taong bininyagan ay mas lalong ganap na kaisa sa Simbahan at pinayayaman ng espesyal na lakas ng Banal na Espiritu. Dahil sila'y totoong saksi ni Kristo, may tungkulin na ipalaganap at depensahan ang pananampalataya sa pamamagitan ng salita at gawa, at hindi ikinahihiya ang krus.

Tulad ng sakramento ng Binyag, ang sakramento ng Kumpil ay isang beses lang matatangap. Dahil ito'y nakatatak na sa kaluluwa na di mapapawi ang espirituwal na tanda, ang "katangian" na isang tanda na si Jesukristo mismo ang nagtatak sa kristi-yano ng selyo ng kanyang Espiritu sa pamamagitan ng pagdamit sa kanya ng kapangyarihan na gal-ing sa taas na siya'y maging kanyang saksi.

Sino ang pwedeng tumanggap ng sakramento ng Kumpil? Ang pwedeng tumanggap ng sakramento ng Kumpil, ay ang lahat ng mga taong nabinyagan na at hindi pa nakukumpil at kailangan na tumanggap ng sakramento ng Kumpil.

Dahil ang taong hindi pa binyag ay hindi pa pwedeng tumanggap ng Kumpil, dahil ang sakramento ng Binyag at Kumpil ay nagkakaisa.

Bago tanggapin ang sakramento ng Kumpil, ang lahat ng mga bininyagan na, kailangan silang ihanda para mas lalong maunawaan at maintindihan kung ano ang tatanggapin sa sakramento ng Kumpil. Kailangan na maunawaan din ng mga magulang ang bagay na ito.

Kaya mga Kababayan, kung mayroon kayong mga katanungan at hindi naiintindihan sa bagay na ito, huwag kayong mag-atubili na pumunta sa Simbahan at kausapin ang pari sa bagay na ito.

Hanggan sa muli, patnubayan nawa kayo ng Diyos.

Fr. Dino A. Orolfo

### 9月15日は教区の日

ご存知ですか?

#### カテドラル存在の意味

「司教座教会 司教座教会に対する愛と尊敬が相応しい形で信者たちの心に刻まれない。年毎の献堂記念祭儀、また信者が、ことに小教区あるいは地区毎に敬虔に司教座を訪問するために非常に行う巡礼は、そのために非常に有益である (同四五番)。」

### 今月の暦 (9月)

3日 (金) レンブートル会が来鹿 (ミタマヤ神父、ヤロシユ神父、マイエル神父) し川内教会に着任 (一九五三年)

8日 (水) 教区本部会議・教区本部・10時

▼七田和二郎神父命日 (一九八九年) ▼阿久根「聖園老人ホーム」落成 (一九六三年)

14日 (火) 糸永真一司教叙階記念日 (一九五二年) 15日 (水) 教区の日 (カテドラル献堂記念日)・カテドラル・14時

※ 教区民の奉献を新たにする日です。カテドラルで司教とともに感謝の祭儀をささげましょう。

20日 (月) 教区司祭会・司教館・16時

21日 (火) コンベントゥス・教区本部・10時

23日 (木) ダニエリ神父命日 (二〇〇三年)

26日 (日) 伊集院サビエル祭・伊集院城山公園・15時

▼世界難民移住移動者の日

「世界難民移住移動者の日」は、各小教区とカトリック施設が、国籍を超えた神の国を求めて、真の信仰共同体を築き、全世界の人々とともに生きる決意を新たにする日です。日本の教会でこの分野の活動を受け持つ日本カトリック難民移住移動者委員会は、日本と全世界にある協力グループとともに活動の推進、連絡、協力、支援、情報の交流等を行っています。そのために祈りと献金がささげられます。主な活動は次の通りです。①滞日・在日外国人とともに、②定住難民や新難民とともに、③外国人船員や国際交通機関の乗務員とその家族とともに④海外日本人・海外移住者 (海外旅行者も含む) とともに⑤海外日本人宣教師、外国人宣教師とともに

27日 (月) 有馬信茂神父叙階記念日 (一九五九年)

▼メニヒ神父叙階記念日 (一九五九年)

29日 (水) 聖フランシスコ・ザビエルが島津貴久を訪ね布教許可を得る (一五四九年)

▼聖ミカエル (木村敏彦神父)

10月 4日 (月) サンタマリア神父叙階記念日 (一九七〇年)

5日 (火) 牧山田一神父叙階記念日 (一九六一年)

10日 (金) 福崎英雄神父叙階記念日 (一九八九年)

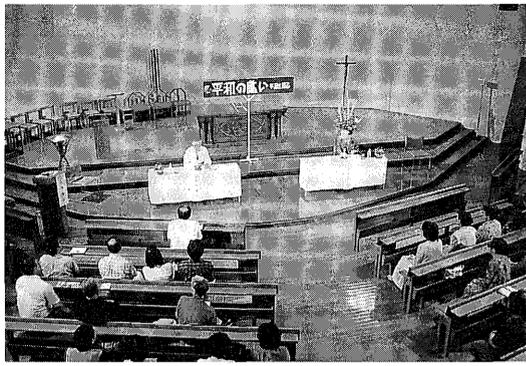
【お詫びと訂正】

教区報八月号の奄美大島地区信徒研修会の記事で「Census」Iacusの訳に誤りがありました。正しくはそれぞれ「読み書きのできる人」「読み書きのできない人」です。お詫びし訂正いたします。 広報部

# 公開討論会で「平和」を語る

## 連合壮年会がユネスコ協会と協力して

八月七日(土)午後七時から、鹿兒島カトリック連合壮年会(佐々木正光会長)と鹿兒島ユネスコ協会共催の「平和の集い」がザ



平和旬間にふさわしい催事となった

ビエル教会で開かれた。「平和」をテーマに糸永司教と鹿兒島ユネスコ協会会長の田中弘允氏をパネリストに招いて、パネ

ルディスカッション形式で行われたが、信者や一般市民七十人ほどが参加し、平和について考え、意見等を交換をした。

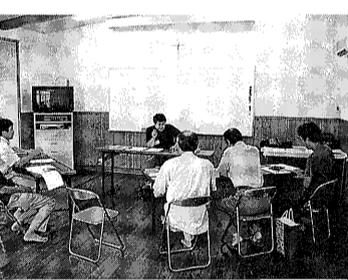
この集いは、終戦記念日の八月十五日に「平和の鐘を鳴らそう」を企画した鹿兒島ユネスコ協会が「ザビエ

ル教会鐘樓の鐘も鳴らしてもらいたい」と糸永司教に協力を願って面会したのがきっかけ。この時の話し合いの中で司教の呼びかけに応じて、市内教会の連合壮年会が同ユネスコ協会と共催という形で企画したのも

## 人間関係を学ぶ研修会

### 鹿兒島カトリック教師の会

「戦争は罪のない人を殺し、市民から日常生活を奪い、人間の残酷性を増幅するもの」で「マスコミや熱狂に流された市民の賛成があつて行われる」と戦争について話した。その上で「私たち市民は施政に関心を持ち、冷静に考え、はっきりと意見を言わなければなら



カトリック鹿兒島教区教師の会では、八月七日(土)と八日(日)の二日間、祈りの家「マリア山荘」で今年度の研修・黙想会を開催した。指導に当たったのは西本仁史神父(古仁屋教会・コンベンツアル会)。出席者は「他人と自分の関係を見つめよう」愛す

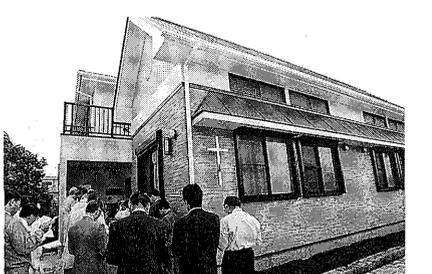
他人のために尽くす愛、そして「自由」と話した。その後司教は、国連の役割の重要性を強調するとともにカトリック教会の独特の使命として「世界の平和は一人ひとりの心の平和から始まるが、それには神の恵みが必要。キリストから神の平和を与えられた私たちは、それぞれの場で世界平和に

尽くす特別の使命がある」と語った。質疑応答の時間では、参加者から自爆テロやNPO活動、憲法改正や有罪法制などの問題について活発な質問がなされた。また八月十五日には鹿兒島市内の教会も協力して「平和の鐘を鳴らそう」の催しも行わ

## 修道会便り

▼レデンプトール宣教修道女会  
四月から谷山修道院の建設工事に取りかかっていたが、このほど完成、八月十九日(木)午前、糸永司教を迎えて落成・祝別式を行った。

新しく建設された谷山修道院は谷山教会近くの静かな住宅地にある。二階建てで一階部分に聖堂と食堂など生活スペースが設けられ、二階が居室となっている。同修道院には愛の聖母園などに勤務する修道女四人が住む。



修道院は谷山教会近くの静かな住宅地にある。二階建てで一階部分に聖堂と食堂など生活スペースが設けられ、二階が居室となっている。同修道院には愛の聖母園などに勤務する修道女四人が住む。

## ザビエルさまの散歩道

六年前の八月、学校の夏休みに鹿兒島に帰ってきて、青年達のキャンプに参加した。初めて意識して聖フランシスコ・ザビエルゆかりの地を巡った。

翌年の三月、鹿兒島に帰ってきて「ザビエルサマーキャンプ」の準備に五か月あまり没頭した。青年同士のぶつかり合いや

上手く行かない歯がゆさの中で、多くのものを学んだ。ザビエルの書簡をみんなで読みながら、彼の苦勞と喜び、謙虚さと神様への信頼、燃える使命感に感動した。

アジアユースデーに参加して台湾に行った。ことばの壁を前にして、コミュニケーションの大切さ

## 何のために生きてます?

教皇ヨハネ・パウロ二世の説教を聴いた。弱っていく体をおしてま

で世界中に赴き、世界中の人々に語りかけるその姿を見て、ザビエルを思い出した。教皇も、ザビエルと同じ燃える使命感を持ち、今も歩んでいる。彼は言った。「イエスは十字架から降りなかった。」

八月十五日はザビエル上陸記念祭への御参加、ありがとうございます。昨年よりも百名余り多い、約三百七十名の参加があったこと

に実行委員も皆大変励まされました。来年もより多くの皆さんの参加をお願いいたします。▼当コラムへの寄稿は教区本部・久保まで。

## 「短信」

▼カトリック幼稚園協会  
夏休み恒例のカトリック幼稚園研修会が七月二十三日(金)から二十四日(土)まで霧島国際ホテルで開催された。

今年の研修テーマは「絵画指導における創造的試み」。教区内から集まっ

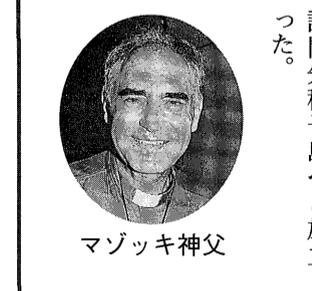
た幼稚園関係者達は森下純吐先生の講話で熱心に学習した。

▼霧島国際音楽祭  
七月二十三日(金)ザビエル教会聖堂で、霧島国際音楽祭「教会コンサート」が開催され、大勢の市民がフルートとオルガンの美しい音色を満喫した。

▼イタリアからの巡礼団  
イタリアからの巡礼団

が鹿兒島にも立ち寄り、カテドラルでミサをささげ、市内信徒の家庭にホームステイしたのち種子島を訪問した。

七月十五日(日)来日し、日本各地で禅宗の寺を訪問するなどし



マゾッキ神父

マゾッキ神父は、ザビエル上陸記念碑などを訪ねた後、カテドラルで司教ミサに参列した。またミサ後は教会ホールで、マゾッキ神父を懐かしむ信徒やホームステイ先の信者たちと交流を持ち、翌日、次の訪問先種子島へと旅立った。

## 学園情報

純心高校吹奏楽部  
鹿兒島純心女子高校吹奏楽部が、来年春、ウィーン楽友協会ホールでの演奏会に日本代表として参加することになった。ウィーンでの高校吹奏楽部の演奏は全国でも十校程度、女子高では二校目という。

▼上陸記念碑清掃  
鹿兒島連合壮年会では、八月八日(日)午前十一時からザビエル上陸記念祭の準備の一環として、猛暑の中暑さに負けず上陸記念碑の清掃を行った。

▼血山教会跡でミサ  
聖母被昇天の祝日早朝、川内教会の信者たち約二十人は血山教会跡地でミサをささげた。

# 数字で見える日本の教会

## 二〇〇三年カトリック教会現勢

二〇〇三年の全国の教会の教勢に関して、カトリック中央協議会広報部は六月、「カトリック教会現勢二〇〇三年」を発表した。内容は、二〇〇三年の信者数、関係施設、秘跡受領者数、各種事業、過去十年間の推移などである(鹿兒島教区の教勢については四月の教区報参照)。

| 教区   | 人口          | 信者数     |
|------|-------------|---------|
| 札幌   | 5,662,856   | 18,205  |
| 仙台   | 7,371,372   | 10,947  |
| 新潟   | 4,878,343   | 7,707   |
| さいたま | 13,976,155  | 19,814  |
| 東京   | 17,974,747  | 91,586  |
| 横浜   | 15,403,536  | 53,512  |
| 名古屋  | 12,230,555  | 25,380  |
| 京都   | 7,212,099   | 19,194  |
| 大阪   | 15,283,954  | 55,732  |
| 広島   | 7,718,391   | 21,702  |
| 高松   | 4,174,004   | 5,407   |
| 福岡   | 7,746,942   | 31,600  |
| 長崎   | 1,516,920   | 67,728  |
| 大分   | 2,409,642   | 5,765   |
| 鹿児島  | 1,775,636   | 9,527   |
| 那覇   | 1,353,212   | 6,119   |
| 合計   | 126,688,364 | 449,925 |

「全国の推移」  
全国の信者数は四四九、九二五人で総人口二二六、六八八、三六四人に対する割合(信者率)は〇・三三三%である。過去十年間の推移について、過去十年間

の推移を見ると、前年より増えた年もあるが、全体として減少傾向にあり、一九九三年は一〇・三三三%、二〇〇三年は七・六四八%である。総人口は十年前に比べると二・七三〇、九〇六人増えている。

「鹿兒島教区と全国の比較」  
信者率について、鹿兒島教区は、〇・五三七%で十六教区の中で二番目に高い(人口一、七七五、六三六人)。聖職者・修道者・神学生を含めた信者九、五二七人。最高は長崎教区の四・四六五%(人口一、五一六、九二〇人、信者六七、七二八人)である。

信徒の割合は六二・八%で全国の五八・九%と比べて女性の割合が高い。公表された数値から主日のミサの参加率(参加者を信者数で除したもの)と教区内の人口に対する受洗者(幼児洗礼と成人洗礼の合計)の割合を出してみた。主日のミサの参加率は、全国平均は二七・五%で、高い順に長崎教区三九・九%、福岡教区三二・八%、鹿兒島教区は二七・九%で三番目である。

受洗者の割合について、全国平均は〇・〇〇六%(十万人に対して六人が受洗)である。最も高いのは、長崎教区の〇・〇三%、次いで東京教区の〇・〇一%、鹿兒島は〇・〇〇七%でこれも三番目である(鹿兒島県の人口一、七七五、六三六人、受洗者一三〇人「幼児五八人、成人七二人」)。



マゾッキ神父と巡礼団を囲んで喜びの信者たち

### 聖堂内部を塗装修理

#### マゾッキ神父との再会記念に種子島教会

聖堂にささげられた種子島教会が献堂されたのは一九七五年。今から二十九年前の三月二十一日、イタリア人のマゾッキ神父(ザベリオ宣教会)在任中のごとくでした。聖堂建設にはシスター方、そして信徒、たくさんの方々の協力もあり

ました。そして何よりもマゾッキ神父の力の注ぎようには目を見張るものがありました。

その種子島教会ですが、長い年月で聖堂内外の傷みがひどくなってきました。そこで信者たちは「自分たちの教会はささやかでも自分たちの力で守ろう」との気概から、修繕積み立てを始めました。そんな時です。

この夏、マゾッキ神父様を含む二十数人のイタリア人巡礼団が種子島を訪れるというニュースが飛び込んできました。

そこで小教区司牧評議会の全員一致で、聖堂内部塗装修理を決定し、さっそく実行しました。

八月一日、化粧直しをすませた聖堂でそのイタリアからの巡礼団と一緒に主日のミサにあずかりました。

イタリア語、日本語の二か国語での国際色豊かな、そして心ふれ合うミサでした。種子島時代の思い出を話されるマゾッキ神父が印象的でした。そして、この日の午後、島を離れる皆さんと食事をし、別れを惜しまれました。

(通信員・前田和徳)

### 夏の子どもたち

#### 和泊教会こども会合宿

和泊教会では七月二十四日(土)と二十五日(日)、こども合宿がありました。この日は五月十六日に祝別された四坪ほどの集会所「ジェラルド・ハウス」に信者や一般の小中学生十人が集まりました。テーマは「神様ありがとう」。自然や人を通して与えられる神様の愛に気づき、主日のミサの中で神様への感謝の手紙を奉納しました。

土曜日の夕食は沖永良部、与論の信者の協力で大人も一緒に交流会ができました。ご存知のように聖ジ

エラルドは和泊教会の守護聖人です。これからの聖人の保護のもとで、このジェラルド・ハウスで信仰教育、共同体作り、布教がますます盛んになるよう期待しています。

(報告/シスター荒木関)

#### 加世田教会学校

加世田教会では八月四日(水)、五日(木)の二日間、久しぶりに夏休みを利用して教会学校キャンプを実施し二十一人が参加しました。場所はマリア山荘。バスでマリア山荘に到着した子どもたちは、まず隣の聖血礼拝修道女会を訪問。そこでこの春、修道誓願立五十周年を迎えた松下敏子シスターを訪ね、シスターから修道生活について講話を聞き、また準備してきた花束を贈った。

## 文芸

### 短歌 (思川短歌会作品)

名瀬 林 明子

あたらしい道がまつているわたしたちは十字架もちていかされている花の芽の力強さをくださった主のよるこびにかんしゃします

(評) 口語短歌の素材さが伝わってくる心の歌

阿久根 中津濱フサエ  
初盆を迎へし兄は灯籠の晴れ着の中で澄ましてすわる  
友のため代母つとめし今朝のミサ心ひきしめ神に祈りぬ

(評) 清々しい祈りの歌  
大口 森 博伸  
告げえずにいつかうすれた想いあ

りほのかな悔いよくチナシの花ほほえみもやさしいことばも惜しむよにこころ貧しき日はさみしかり

(評) 「クチナシの花」が佳作とした  
出水 遠竹睦郎

生徒らの書き記したる遺稿集またた戦ひのむなしさ残る  
天草の島眺めつつ踏絵なる歴史を秘めし教会徳ぶ

(評) 虚しさも悲しさも繰り返してはならぬことを詠み得た歌

阿久根 眞清水 藍  
母逝きし齢を過ぎて六年経ぬ永遠の御国でまみゆるは何時  
明けやまぬ空に向けて今開く朝顔はげに天上の青

(評) 人生を感じさせる明るい歌  
鹿兒島 春山マリ子  
ロザリオの祈り愛しく唱えれば明

るい明日約束されん  
豊かなる恵みを受けし我らなり平和を願う主に従ひて

(評) 安らかな日々暮らすが、そして祈りの尊さが伝わってくる歌

鹿兒島 前田儀子  
眼の手術終えし安堵にピエタ像と雛人形を棚に並べぬ  
ルルドの水に癒えむとピアドロロ

(評) 心安らかなる作者が浮かんでくる歌

鹿兒島 徳永ノブ子  
七夕や平和を祈る色紙かけ  
早あと恵みの雨のありがたき  
祈るのみ思い新たな原爆忌

鹿兒島 龍門司真人  
路地に咲く小菊が自慢の桃李かな  
目の覚めるレモンイエローの優美菊

### 集いのお知らせ

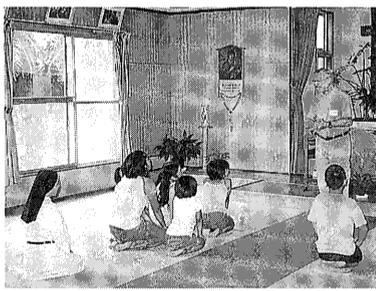
#### ◆伊集院ザビエル祭&徒歩巡礼

「聖フランシスコ・ザビエルが薩摩においての布教許可を得た日を思い起こして、共に祈り、伊集院城山公園で司教様を囲んでミサをささげましょう!」  
若い人は徒歩巡礼も行います。ミサだけの参列もOKです。

実施日: 9月26日(日)  
日程: 7時45分集合(ザビエル教会)~8時出発(巡礼中はロザリオの祈りなど)~13時30分到着・昼食~15時ミサ  
※巡礼に参加する人は久保直基まで

☎099(254)1670  
☎099(251)7230

eメール kagoxavi-b@po5.synapse.ne.jp



と、また準備してきた花束を贈った。